

平成 27 年度 事業報告

平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

I 概況

公益社団法人若松法人会は、『健全な納税者の団体』であると同時に『よき経営者をめざすものの団体』との法人会の基本的指針の下、税務当局、税理士会及び全法連・県連等の関係機関の指導・支援を得ながら、定款に掲げる「税知識の普及、納税意識の高揚に努め、税制・税務に関する提言を行い、もって適正・公平な申告納税制度の維持・発展と税務行政の円滑な執行に寄与するとともに、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献することを目的とする。」に基づき、各種事業を積極的に展開してきました。

平成 27 年度は、次の事業を、会員に開催案内等を郵送するほか広報誌（配布、備付）、ホームページ、チラシ等を通じて広く一般に周知して実施した。

II 実施した事業

1 税知識の普及を目的とする事業（公1）

(1) 新設法人説明会

本年度は新設法人が少なかったため、翌年度の新設法人と合同で説明会を開催することとした。

(2) 決算法人説明会

法人税・消費税の適正な申告が行われることを目的として若松税務署管内の全法人を対象に税制改正事項等決算手続きに関する留意点等についての説明会を年4回実施した。

(3) 租税教室

租税教育推進の観点から若松税務署管内に所在する小学校6年生を対象に「税」の意義、役割などについて考える機会を作り、「税」に関心を持ってもらうことを目的に7校で開催した。



(4) 青年のつどい「茨城大会」

平成 27 年 11 月 20 日に水戸市で開催された「第 29 回全国青年の集い茨城大会」へ当会青年部会員 3 名が参加し、優秀な租税教室活動を学ぶとともに全国の青年部会員と情報交換する事により、青年部活動のレベルアップを図った。



(5) 広報事業

若松税務署管内の法人又は市民を対象に税知識の普及を図る事を目的に税に関する広報事業を行った。

- ・ FMラジオで「若松法人会便り」を放送
平成 27 年 11 月 5 日から 4 週にわたり
毎週木曜（11 時～12 時）地元 FM ラジオ
局「エアステーション HIBIKI 【88.2MHz】」
に会員が生出演し、地元企業の情報や話題
を盛り込み、若松法人会活動の紹介し、「若
松法人会」の活動を印象付けた。
- ・ 会報誌「法人会だより」の作成・配布と公共施設への備置き
- ・ 広報誌「ほうじん」（全法連発行）の配布
- ・ 広報誌「川艦（かわひらた）」（若松税推協発行）の配布
- ・ 広告塔の設置と維持管理
- ・ 新聞広告掲載による確定申告 PR の実施



北九州地区 5 法人会(小倉、八幡、若松、門司、行橋)共同で確定申告に関する新聞広告を平成 28 年 2 月 14 日(日)毎日・読売・朝日新聞朝刊の北九州・京築版に掲載して、申告期間及び e-Tax の周知を行った。

(6) 税理士会・間税会・法人会合同研修会

平成 27 年 8 月 24 日(月)若松税務署 6 階会議室において、若松税務署法人課税第一部門樋口総括上席を講師に税理士会・間税会・法人会合同で「マイナンバー制度について」の研修会を実施した。

2 納税意識の高揚を目的とする事業(公 1)

(1) 税金クイズ

税を身近なものに感じてもらう機会を提供するとともに税の大切さを理解することで、納税意識の高揚を図る事を目的に「夏の夕べ」、「バス研修会」において税金クイズを実施した。

(2) 税に関する絵はがきコンクールの実施

租税教室を実施した小学校 6 年生の児童を対象に「税」に対する関心を高め、「税」の大切さを理解してもらうことを目的に「税」に関する絵はがきを募集した結果、293 枚の応募があり、平成 27 年 2 月 10 日(水)女性部会で優秀作品を選定した。(前年度応募：397 枚)



(3) 税の作文表彰

納税貯蓄組合と共催し、管内の全中学校の生徒を対象に「税」に関する作文を募集し、優秀作品を表彰した。

3 税制及び税務に関する調査研究並びに提言に関する事業(公 1)

(1) 税制に関するアンケート調査

当会の税制委員を中心とした 25 名の皆様にアンケート調査を行い、若松法人会としての税制改正要望の取りまとめを行い、5 月 13 日県連へ送付した。

(2) 税制改正の提言・要望活動

11 月 5 日、6 日両日北九州地区 5 法人会が共同し、地元選出国會議員(山本衆議院議員)、北九州市長及び市議会議長に「28 年度税制改正に関する提言」(全法連作成)を提出した。

平成 28 年税制改正スローガン

- ① 厳しい財政状況を踏まえ、国・地方とも行財政改革の徹底を！
- ② 中小企業の力強い成長なくして、真の経済再生なし！
- ③ 法人の実効税率を早期に 20% 台に引き下げ、軽減税率 15% 本則化の実現を！
- ④ 中小企業の円滑な事業承継のために、欧州並みの本格的な税制の創設を！

4 地域企業の健全な発展に資する事業(公 2)

(1) リスクマネジメントセミナー

6 月 19 日(金)北九州地区 5 法人会主催によるリスクマネジメントセミナーを開催し、当会から 17 名参加した。

場所：コムシティー(八幡西区黒崎)3 階大会議室

講師：今西眞 弁護士

演題：「現代型労務問題に対する具体的対応策」

(2) 新春講演会

地域企業の健全な発展を目的に管内企業を対象に北九州商工会議所と共催事業として社会保険労務士の清原愛氏をお招きして「これで安心マイナンバー制度」の講演会を実施した。

日時：平成 28 年 1 月 22 日(金)15:00~16:30

場所：若松市民会館 第3集会室

- (3) 北九州地区5法人会共催「合同講演会」
平成28年2月25日(木)17時から北九州地区5法人会が共催で地域事業の健全な発展を通じて豊かな地域社会を実現することを目的とし、会員以外にも広く市民の皆さんが参加する講演会を開催した。



場所：ステーションホテル小倉

講師：金子勝氏(慶應義塾大学経済学部教授)

演題：「日本経済のゆくえ」

- (4) 優良企業視察・調査研修会(バス研修会)

会員及び一般市民の教養を高めることを目的に山口県萩市のグループホーム「オアシスはぎ園」を視察し、先端の介護施設の考え方や運営について理解を深めた。

- (5) 記念講演会

第3回定時総会終了後、会員及び一般市民を対象に南蔵院第23世住職である林覚乗氏を講師に迎え「こころゆたかに生きる」を演題として記念講演会を実施した。



5 地域社会への貢献を目的とする事業(公3)

- (1) 地元祭り支援うちわ寄贈(若松みなとまつり)

地域町づくり活性化のイベント「若松みなとまつり」を支援するため、北九州地区共同で団扇を作成し、会場で一般市民に配布し、まつり活性化を応援し、祭り協賛金の支援を行った。

- (2) 「国際車椅子バスケットボール大会」応援北九州市開催の「国際車椅子バスケットボール大会」において出場選手の応援活動を実施した。

- (3) 地域授産施設等の学園祭支援(ひびき学園)

「社会福祉法人ひびき学園」の学園祭支援活動として軽食の炊き出し等の支援活動を実施し、売上相当分を「いも苗」として学園に寄贈した。



また、学園で行われるいもの植え付けに参加し、収穫したいもで製造された焼酎を

「夏の夕べ」の税金クイズの賞品として提供した。

- (4) 「鳥がさえざる緑の回廊植樹会」支援

北九州市が主催する「鳥がさえざる緑の回廊第10回植樹会」に女性部会員が参加し、植樹を行った。

- (5) 記念講演会

法人会創立45周年を記念し、平成27年11月30日(月)会員及び一般市民を対象に舞の海秀平氏を講師に迎え「小よく大を制す」を演題として記念講演会を実施した。

- (6) 図書寄贈

チャリティー事業で得た資金で平成27年12月24日中間市の学校図書館に書籍約50冊を寄贈した。



- (7) 地域イベントへの参加

地域活性化イベントである「中間やっちゃれ祭り」、「えびっかぐや灯籠まつり」の応援と祭り協賛金の支援を行った。

- (8) 使用電力の節減に対する取組(いちごプロジェクト)

女性部会を中心として、「夏の夕べ」で節電を呼びかける団扇の配布を行った。

(9) 献血活動

支部事業として、福岡県赤十字血液センターに協力し、広く一般市民に呼び掛けて、献血活動を実施した。

(若松 3、中間、芦屋、遠賀)



(10) 災害に関する被災者・災害復興支援活動

災害に関する被災者・災害復興支援を目的として、「夏の夕べ」でのチャリティー物販、チャリティーゴルフ、災害復興支援チャリティーショーで募った寄金を、図書寄贈及び口之永良部災害・東日本大震災義援金として寄付した。



6 会員の福利厚生のための事業（収益・その他）

(1) 簡易生命保険団体保険料払込制度の集金業務

団体扱いによる保険料の割引制度を利用し、会員である法人企業に働く者の福利厚生に寄与する為に簡易保険の集金事務を代行している。

(2) 貸倒保証制度の普及推進

会員である法人企業の経営の安定化のため、契約時に選定した取引先に債務不履行が生じた場合に、予め約定した保険条件にしたがって保険金が支払われる貸倒保証制度の普及推進のため、ホームページで紹介活動を行った。

7 会員の交流を図るための事業（その他）

(1) 「夏の夕べ」

管内の企業及び一般市民を対象に、社会貢献、税の研修、参加者相互の交流を目的に実施した。

また、災害支援イベントとして「チャリティー物販」、納税意識の高揚のため「税金クイズ」等を実施した



(2) チャリティーゴルフ大会

会員の交流と親睦を図るチャリティーゴルフ大会を開催し、募った寄金を図書として寄贈した。(中間市学校図書館)

(3) 経営者大型保障制度の普及推進

会員である法人企業の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的として経営者や従業員の病気や事故による死亡、高度障害、入院等について保障する経営者大型総合保障制度の推進を図った。

(4) 経営保全プランの普及推進

会員である法人企業の災害・賠償責任に備える経営保全プランの普及推進を図った。

(5) がん保険制度の普及推進

会員である法人企業の福利厚生制度の充実と経営の安定、安心を目的としてがん保険の普及推進を図った。

(6) 会員増強事業

組織の健全な維持と財政基盤の充実を図るため、支部会を開催し、会員の増強に取り組んだ。(組織拡大月間 10月～12月)

8 その他この法人の目的達成に必要な事業（その他）

全法連、県連、他単位会及び関係団体等が主催する諸事業へ積極的に参加し、研鑽や情報交換等を行った。

また、あらゆる機会をとらえて公益社団法人としての認知度の向上を図るとともに会員の拡大と財政基盤の確立に努めた。

実施事業等の詳細については次ページからの付属明細書をご参照ください。